



日本プライマリ・ケア連合学会
四国ブロック支部



発行人：阿波谷,大原,板東,川本,佐野
事務局 〒761-2103
香川県綾歌郡綾川町陶 1720-1
綾川町国民健康保険陶病院気付
副支部長/事務局長 大原昌樹・土肥宛
Tel. 087-876-1185 Fax. 087-876-3795
E-mail oharamasaki@gmail.com

★1 第23回日本プライマリ・ケア連合学会四国ブロック支部地方会 (第2報)

第30回四国地域医学研究会 第3回かがわ総合診療研究会 合同学術集会のご案内

大会長：三豊総合病院 中津守人

『第23回日本プライマリ・ケア連合学会四国ブロック支部地方会・第30回四国地域医学研究会・第3回かがわ総合診療研究会 合同学術集会』を、香川県支部が担当で、香川県高松市において下記の日程で開催させていただきます。

人口の減少と高齢化、単身世帯の増加、老老介護などが、益々大きな社会問題となってきています。プライマリ・ケア医として、医療を提供するだけでなく、その人の生活そのものを支えることが必要な事例も増えていきます。また、コロナ禍で、地域の中での人と人との繋がりも希薄になってきています。そのような中で、住民の方が、自分らしく、安心して生活できるため、医療や介護によるサービスだけではなく、インフォーマルなサービスも含め、地域づくりも重要となってきていると考えます。

そこで、今回、『with コロナ、after コロナ時代のプライマリ・ケア』～地域に寄り添うプライマリ・ケア医を目指して～をテーマに合同学術集会を開催したいと考えています。初日は、一般演題の後、特別講演として、まんのう町国保造田歯科診療所の木村年秀先生に、『地域のつながりで進める食支援のかたち』という演題で、過疎地域での取り組みについてお話していただきます。その後、「地域に寄り添うプライマリ・ケア医を目指して」をテーマにシンポジウムを開催したいと考えています。できれば、各県から1名、地域でプライマリ・ケア医として活躍されている先生にシンポジストをお願いできればと考えています。2日目は、例年どおり、ポートフォリオ発表会、一般演題の後、特別講演として、洛和会丸太町病院救急・総合診療科の上田剛士先生に、『コロナ禍で軽視されがちであった高齢者の身体診察』という演題でご講演をお願いしています。

交流会については、コロナの感染状況をみて開催を判断する予定ですが、できれば、以前のように会員の皆様と顔と顔を合わせ、お酒を飲み交わしながら懇親会が開催できればと考えています。

参加や演題募集については、後日、改めてご案内させていただきます。多数の皆様のご参加を、準備委員一同、心からお待ち申し上げます。

第23回 日本プライマリ・ケア連合学会四国ブロック支部地方会
第30回 四国地域医学研究会 第3回 かがわ総合診療研究会
合同学術集会

with コロナ、after コロナ時代の
プライマリケア
～地域に寄り添うプライマリケア医を目指して～

演題募集
令和5年 9月1日(金) ～ 9月30日(土)

会期 令和5年 11月11日(土)～11月12日(日)
会場 香川県立中央病院 1階講堂 および ZOOM

大会長 三豊総合病院 中津守人
副大会長 小豆島中央病院 佐藤清人

学会事務局 三豊総合病院地域連携課 相談員 石山晃子
〒769-1695 香川県綾歌郡綾川町陶708番地
☎ 0875-52-3366 📠 0875-52-3306 ✉ pc2023@mitoyo-hosp.jp

【開催日程】 令和5年11月11日(土) 13:00~18:30

令和5年11月12日(日) 8:30~12:40

【会場】 香川県立中央病院 1階講堂 (香川県高松市朝日町一丁目2番1号)



【プログラム】(予定)

【第1日目】11月11日(土)

| 時間 | 演目 |
|-------------|--|
| 13:00~ | 四国地域医学研究会総会 |
| 13:30~ | 受付 ログイン開始 |
| 14:00~14:10 | 開会式 |
| 14:10~ | 一般演題1 |
| 15:45~16:25 | 特別講演① 『地域のつながりで進める食支援のかたち』 まんのう町国保造田歯科診療所 木村年秀先生 |
| 16:30~18:10 | シンポジウム 『地域に寄り添うプライマリ・ケア医を目指して』 |
| 18:20~18:50 | 四国ブロック支部総会 |
| 19:30~ | 交流会 |

【第2日目】11月12日(日)

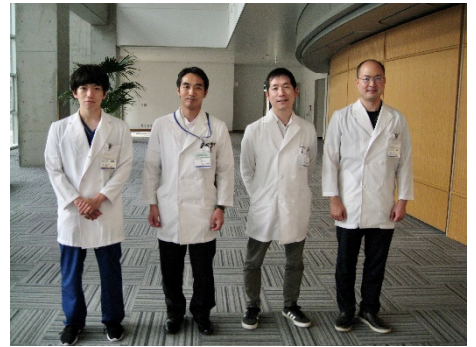
| 時間 | 演目 |
|-------------|--|
| 8:30~10:00 | ポートフォリオ発表会 |
| 10:10~11:25 | 一般演題2 |
| 11:30~12:30 | 特別講演② 『コロナ禍で軽視されがちであった高齢者の身体診察』 洛和会丸太町病院 救急・総合診療科 上田剛士先生 |
| 12:30~12:40 | 閉会式 |

★2 徳島県支部と徳島大学総合診療医学分野の新体制について

徳島大学総合診療医学分野/徳島大学病院総合診療部 山口治隆

2023年3月末日にて徳島大学総合診療医学分野/徳島大学病院総合診療部の谷憲治教授が定年退官されたことに伴い、徳島県支部は板東浩支部長を筆頭に、副支部長として本田壮一先生（美波町国民健康保険美波病院）、白川光雄先生（海陽町穴喰診療所）、鎌村好孝先生（徳島県保健福祉部）、その末席に私・山口治隆が加わらせていただくこととなりました。今後ともご指導よろしくお願い申し上げます。

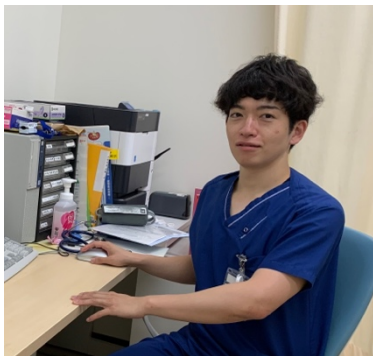
そして徳島大学病院総合診療部は山口と大倉佳宏助教/副部長に加えて、河南真吾先生を助教に迎え、さらに神鋼記念病院（神戸市）で呼吸器内科の経験を積んだ橋田恵佑先生を総合診療専門研修プログラムの専攻医として迎えました！加入当初から家庭医の雰囲気をもつ柔和な青年医師で、仲間になれたことを心からうれしく思います。最初半年間は大学病院総合診療部で総合診療の基本を学び、以降は関連医療機関で研修の予定です。



総合診療の道に進んで（徳島大学病院総合診療部 橋田恵佑）

今年4月から新たに総合診療の道に進み、3か月が経過しようとしています。昨年度までは呼吸器内科医として働かせていただいております。外来では近医からレントゲンや採血結果など目に見える具体的な検査結果と共に患者様の紹介を受けることが多く、経験する事の出来た症例は呼吸器症状を主訴とした比較的高齢の患者様が中心でした。

しかし今年度からの総合診療部の外来では、検査結果に表れないような多様な主訴により来院する幅広い年齢層の患者様を診察させて頂いております。症状も倦怠感などの臓器特異性の低いものも多く、これまで以上に検査よりもまず自分の頭で鑑別疾患を挙げて医療面接・身体診察を行う必要を痛感させられています。実際にこの3か月間だけでも6年間の医師人生で実際に経験した事のない、国家試験の勉強で聞いただけの疾患も経験する事ができ、新鮮な毎日を過ごせています。現在の大学病院での研修/勤務は外来症例毎のフィードバックも手厚く、これまでの外来診療で意識していなかったような事も多く気づかされました。



元々自分が医師を志した頃の理想の医師像は臓器特化型のスペシャリストではなく、老若男女関わらず目の前の患者様を診察できるジェネラリストでした。これからも理想の医師像に近づけるよう、日々トレーニングしていきたいと思っております。

★3 心身医学(psychosomatic medicine)とプライマリ・ケア医学

徳島県PC研究会・徳島県心身医学生物文化産学研究会 板東浩

日本PC連合学会の全国大会でも地方大会でも、従来、日本心身医学会や日本心療内科学会との共同連携プログラムがみられた。プライマリ・ケア医学や心身医学、心療内科はいずれも、全人的医療という共通認識を有する。心身医学はpsychosomatic medicineと呼ばれ、psycho（心理の）+somatic（体性の）という意味を含む。ソマティック（somatic）とはギリシャ語のsoma（=身体、body）に由来し、身体の成長に関わる成長ホルモンの作用を肝臓で媒介して働く「ソマトメジンC(somatomedin C)」の名称にも関わる。

日本心身医学会・中国四国支部の第45回大会が、2023年10月29日（日曜日、10-17時予定）に徳島で開催される。大会テーマは「心身医学と医療・文化との関わり」であり、筆者がお世話を担当している。芸術文

化に関わる内容も含まれており、徳島大学総合科学部の田中佳先生から、ホスピタルアートの哲学と実践のご講演を頂く。また、今回の大会には幅広い各界の関与を予定しており、徳島大学社会産業理工学部の宇都義浩教授に、全体の実行委員長をお願いさせて頂いた。2023年秋には、心身医学や徳島大学、徳島県の発展に多少ともお役にたてるように準備を進めていきたい(図)。

なお、近年、ソマティック心理学が注目されており、身体から導入して、心を癒す方向性を示す。呼吸から身体感覚を感じて、心を整えることに。この中には、Mindfulness (sensory awareness, Yogaを含む)やbody work (Alexander technique)、Massage、dance movement therapyなどが含まれる。このように、私たちの心と身体は一つであり、これから「心身一如」が重要なコンセプトとなるであろう。

第45回 日本心身医学会 中国・四国地方会



テーマ: 心身医学と医療・文化との関わり

会 期: 2023年10月29日(日)
10:00~17:00

会 場: ホテルグランドパレス徳島
(088-626-1111, <https://www.gphotel.jp>)
(JR徳島駅から徒歩3分)

大会長: 板東 浩
(四国MT研究会代表、徳島大学)

- ・特別講演
- ・大会長講演
- ・教育講演
- ・教育セミナー
- ・一般演題などを予定



一般社団法人
日本心身医学会
Japanese Society of Psychosomatic Medicine




★4 高知県における総合診療の勉強会について

佐野内科リハビリテーションクリニック 佐野良仁

高知県では毎月第3木曜日・19時に「総合診療医定例会カンファレンス」を開催しています。

平成24年1月に「第1回・高知県臨床推論ケースカンファレンス」の勉強会を立ち上げました。当時、NHKで放送されていた『総合診療医ドクターG』に憧れて、双方向性のカンファレンスで診断に至るプロセスを学ぶ勉強会を始めたい一心でした。当時は県内でのノウハウが不十分だったため、実際にドクターGに出ていた先生方(生坂政臣先生、鈴木富雄先生、徳田安春先生、山中克郎先生など)をお招きして実演していただき、高知からの症例も1例出して、カンファレンスを行なっていました。

それから11年経過し、現在は『総合診療医定例会カンファレンス』として月1回・第3木曜日の19時から2時間ほどで開催しています。コロナ禍前までは、高知大学、高知医療センター、高知赤十字病院、近森病院の4か所の会場を持ち回りで開催していました。コロナ禍に入り、一時はコロナによる混乱で1年ほど活動が途絶えていたものの、徐々に落ち着きを取り戻し、2年ほど前からはZOOMによるオンラインで毎月開催しています。



参加メンバーには特に制限はありません。各科のローテートで回ってきている医学生や研修医を含め、医師は総合診療医のみならず、循環器内科や膠原病科、放射線科、透析医療に携わる医師など、日常診療ではそれぞれの専門性を有した医療をしている医師が集まっています。そのため、カンファレンスで出てきた内容に、それぞれの得意分野からいろいろな意見やアドバイスが聞けるため、大変勉強になる会となってきました。

参加メンバーには特に制限はありません。各科のローテートで回ってきている医学生や研修医を含め、医師は総合診療医のみならず、循環器内科や膠原病科、放射線科、透析医療に携わる医師など、日常診療ではそれぞれの専門性を有した医療をしている医師が集まっています。そのため、カンファレンスで出てきた内容に、それぞれの得意分野からいろいろな意見やアドバイスが聞けるため、大変勉強になる会となってきました。

Commonな疾患の中に示唆に富む症例経験の提示から難解な症例まで、バラエティーに富む内容となっており、毎月を楽しみにしています。ご興味があり参加ご希望の方は、高知県支部のホームページに連絡先を載せてありますので、世話人であります私・佐野良仁にご連絡ください。

★5 済生丸実習

愛媛大学大学院医学系研究科 地域医療学講座 (愛媛) 川本 龍一

医学生による済生丸実習 (2023年5月18日~19日、宇和海) について報告します。

今年度、地域医療実習がついに始まりました。最初の3人のチームは、離島実習を兼ねて済生丸診療船に乗り、宇和海に浮かぶ大島に向かいました。診療船というだけあって、診察室や心電図、超音波、X線装置など、あらゆる設備が完備されていました。早朝5時に起床し、2時間かけて離島に向かいました。午前7時に到着すると、すでにたくさんの方々が集会所に集まり、検診を待ちわびていました。



済生丸での実習は、大学の講義では経験できない多くの体験を得ることができました。特に離島ならではの医療のあり方について学ぶことができました。

